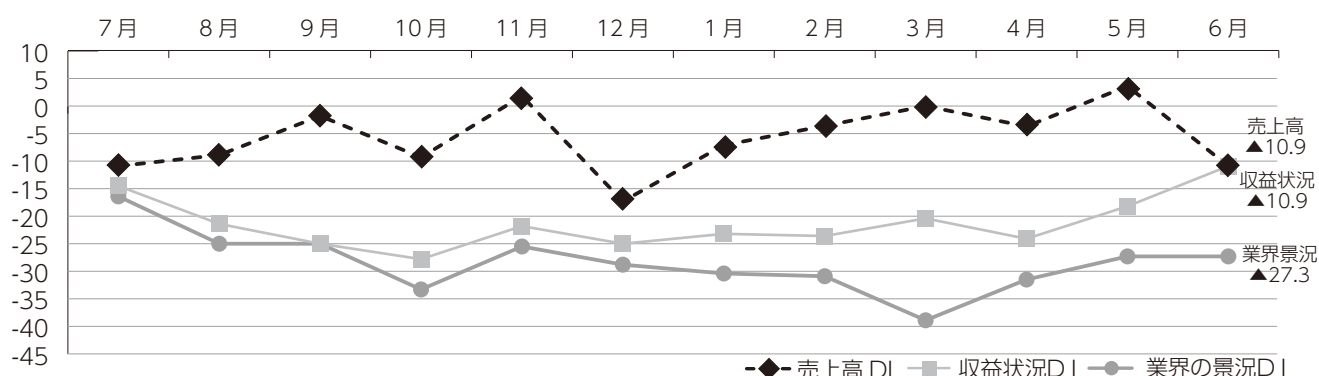


物価高騰や人手不足が経営の負担に

概況

物価高騰や人手不足が多くの業種で経営を圧迫し、厳しい状況が続く。観光需要や季節商品の動きに明るい兆しのある業種もあった一方で、猛暑による影響から人出が減少した業種もあった。また、メーカーからの価格改定について、対応に追われる声や、販売価格を見直すものの、収益改善までは至らないとの声も聞こえた。

主要 DI の推移 (全体)



景況天気図 (前年同月比)

		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
製造業	全業種平均									
	食料品									
	繊維製品									
	窯業・土石									
	機械・金属									
	その他									
非製造業	卸売業							—		
	小売業							—		
	商店街							—		
	サービス業		—					—		
	建設業		—					—		
	運輸業		—					—		

減少悪化 ← → 増加好転

天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	【パン】 商品価格改定に留まらず、内容量についても変更せざるを得ない状況が続く。コストを抑えるため、廃棄食材を減らす等の工夫も検討している。 【菓子】 猛暑により人の動きが無く、忙しさはない。月末はお中元関連の動きがみられた。 【製麺】 猛暑の影響から冷やしラーメンの需要が早期に増加。うどんも3食入りを中心に割安感から需要は比較的堅調。
織 維 製 品	【繊維（桐生市）】 ゆかた関連商品は、これからが本番であり、厳しい状況の改善に期待。 【刺繍】 国内市場の縮小を補うため、海外への販路拡大やオンライン販売の強化を重要視。 【インテリア】 受注状況は悪く、全体で昨年対比9割ほどの印象。
窯業・土石	【コンクリートブロック】 猛暑と高齢化の影響から施工現場の進捗に影響が出ている。 【生コンクリート】 東毛地区ははじめ吾妻・西毛・藤岡地区等で出荷量が増加したが、出荷量の多くを占める中央・北部地区が大幅に減少したため、全体でも大きく減少となった。 【碎石】 売上高は渋川・沼田地区は不変だが、他の地域は減少。
機械・金属	【めっき】 円安に加え賃上げや物価高騰への対応が課題。金利上昇による負担の増加を懸念。 【自動車関連（トラック）】 トランプ関税の影響で客先からの発注内示が段々と低下。将来の売上高の減少を心配している。 【機械金属（高崎市）】 全体的に動きが鈍い中、営業力を活用し、業績アップと新規顧客獲得に邁進。業況回復に注力している状況。 【機械金属（富岡市）】 燃料費がわずかに下がっても、光熱費・材料費等の物価が高騰しており経営は厳しい。そのような状況もあり、賃上げも困難。
そ の 他	【家具】 物価高対策に何らかの進展がみられ、消費者に心理的な安心感が生まれなければ、耐久消費財の消費動向は引き続き低迷するのではないかと危惧。 【紙製品】 年度当初からの物価上昇に伴い、食料品をはじめ消費の動きが良くなかったことが、化粧箱や段ボールケースの消費量にも大きく影響していると感じる。 【印刷】 従業員の生活を考えても賃上げが課題と認識しているが、5%の賃上げは困難。設備投資の資金を賃上げ資金に割り当てることも検討している状況。

《非製造業》

卸 売 業	【紙卸売】 業界的に閑散期なこともあり、荷動きは緩やか。今後、板紙関係の値上げがメーカーより発表されており、それを見据えた一部駆け込み需要を予想している。 【酒類飲料】 メーカーからの価格改定により、毎月のように数千点の価格変更作業に追われ、対応困難な状況が続く。2024年問題の影響から、2～3回運賃交渉があり厳しい状況。
小 売 業	【中古自動車オークション】 出品台数は昨年に比べ大きく増加しているが、成約数は厳しい状況。手数料収入は前年並み。7月のキャンペーンに期待を寄せている。 【石油】 中東情勢の影響により、原油価格が乱高下したものの、国の補助金により仕入れ価格が落ち着き、売上高も安定した。 【生花】 花の需要を刺激する物日もなく動きは静かだが、今年は諸々の物価高騰や猛暑の影響からか平年より来客数、購入金額が減少したように感じている。
商 店 街	【前橋市】 物価高に加えて、下旬の暑さが人出に影響。 【富岡市】 富岡製糸場への観光客が多く、観光バスの駐車場利用の予約が増加している。より多くの人が商店街へ足を運んでくれることに期待している。
サービス業	【建築設計】 改正建築基準法に関する制度への理解・対応が進んできている一方、建設コストの高止まりの状況下で新築需要をどのように喚起するかが大きな課題。 【美容】 気温の上昇にうっとうしさを感じる消費者が増え、来店者数が増加。人手不足は大型店舗でも深刻であり、入社しても1年で半数が辞めていく状況。
建 設 業	【建設】 技術者・技能者が不足。外国人材の受入れは言語や生活習慣の違いから不安を抱えている企業も多い。また、雇用しても専門用語が伝わらないといった課題がある。 【電気工事】 変電所等の新設・拡充の動きが活発化しており、大型変圧器の生産が間に合っていない。その影響で一般用の生産も遅れ、変圧器を使う工事の受注には気を使っている。 【砂利採取】 生コン需要の落ち込みから、前年比で1割ほど生産量・販売量が減少。資機材・電力・燃料等の価格高騰が続いており、価格改定するも収益改善までは至らず。
運 輸 業	【一般貨物運送】 関西方面への輸送について、静岡県内等の中継点で積み荷を受け渡す中継輸送が増加。労働時間短縮の関係から今後も中継輸送が拡大・増加すると思われるが、製品棄損時の責任の所在や積荷の適切なマッチング等の諸課題をクリアする必要がある。 【貨物軽自動車運送】 売上の多くを医薬品配送が占め、スポット配送増加の兆しは見えない。

※本調査は、情報連絡員56人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。